

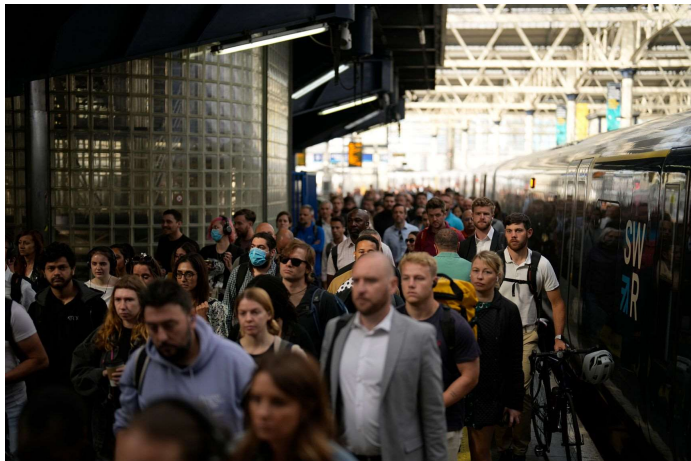
THE WALL STREET JOURNAL.

この記事複製もしくはプリントアウトして使用する場合、その用途は個人的もしくは非営利、その他これに準ずる範囲内での使用に限られます。社内での利用、もしくは顧客への配布用として使用される場合は、必ずwww.djreprints.com（英語のみ）で事前に使用許諾を取得して下さい。

<https://jp.wsj.com/articles/polio-virus-found-in-london-sewage-puts-u-k-on-high-alert-11655946538>

欧州・ロシア

ロンドンの下水にポリオウイルス、当局が警戒



英国でポリオの自然感染が最後に確認されたのは1984年（写真はロンドンのウォーターloo駅）

PHOTO: MATT DUNHAM/ASSOCIATED PRESS

By *Denise Roland*

2022 年 6 月 23 日 10:09 JST

英国保健安全保障庁（UKHSA）は22日、ロンドンの下水道からポリオウイルスが検出されたと発表した。英国では40年近くにわたりポリオの感染例が確認されていないため、医療機関が警戒を強めている。

UKHSAは、ロンドン東部の下水道処理施設で2～5月に採取されたサンプルから複数の近縁なポリオウイルスが検出されたとして、警戒を呼び掛けた。検出状況からみて、ポリオウイルスの一種の市中感染が起きているとみられるという。

欧米でポリオウイルスが検出されるのは異例。ポリオウイルスは子どもが感染するケースが多く、重症の場合はごくまれにまひが生じることがある。世界の保健機関はポリオ根絶に近づいているとしているが、すでに根絶に成功したと思われていた国でウイルスが再び発見され、足をすくわれた格好となっている。

英イースト・アングリア大学の医学教授、ポール・ハンター氏は、英国でポリオウイルスが局所的に広まっていることについて、経口生ポリオワクチンを今も定期的に使用して

いる国からの入国者に由来する可能性が高いとした。英国では現在、米国など多くの国と同様に不活化ワクチンが使用されている。

ピックアップ



国際

クリミア爆発、ロシア支配地深部への攻撃能力示す



中国

中国の台湾巡る「新常態」、硬軟織り交ぜ



米国

反トランプのチェイニー氏、大統領選出馬を検討



HEARD ON THE STREET

欧米のロシア産原油不買、シノペックには棚ぼた



国際

米台、貿易投資協定巡り正式協議を今秋開始



アジア・オセアニア

騒がしい隣人が越してきた その名は韓国大統領



ビジネス

動画配信サービス、入退会繰り返す顧客に苦戦



金融

懲りない投資家、米インフレ低下にまた賭ける

Copyright 2022 Dow Jones & Company, Inc. All Rights Reserved

本サービスが提供する記事及びその他保護可能な知的財産（以下、「本コンテンツ」とする）は、弊社もしくはニュース提供会社の財産であり、著作権及びその他の知的財産法で保護されています。個人利用の目的で、本サービスから入手した記事、もしくは記事の一部を電子媒体以外方法でコピーして数名に無料で配布することは構いませんが、本サービスと同じ形式で著作権及びその他の知的財産権に関する表示を記載すること、出典・典拠及び「ウォール・ストリート・ジャーナル日本版が使用することを許諾します」もしくは「ハロonz・オンラインが使用することを許諾します」という表現を適宜含めなければなりません。

www.djreprints.com